

## 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

### 南北商事仲裁委員会委員名簿の交換

2006年7月5日、南北は6月の南北経済協力推進委員会で合意していた南北商事仲裁委員会の委員名簿を相互に交換した。南北間の商事紛争は、南北経済協力の進展により増加しているが、南北間の微妙な関係から、解決手段がない場合が多かった。南北間の仲裁や第三国での仲裁などによる紛争の効率的な解決が望まれている。今回の名簿交換によって直ちに制度が動き出すわけではないが、南北間での商事紛争の法的な解決に向けて一歩前進であると評価できる。

### 第19回南北閣僚級会談開催

2006年7月11日～13日、第19回南北閣僚級会談が釜山で開催された。北朝鮮によるミサイル試験後初の南北間の主要な接触ということで注目を浴びた会談であった。基調演説で、南側の代表は、北側のミサイル発射に強い遺憾の意を表明し、さらなる発射を行わないよう強く要求するとともに、北側が米国の金融制裁に反発して2005年11月以来参加を拒否している六カ国協議に早急に復帰するよう求めた。これに対して北側の代表は、ミサイル問題や六カ国協議への復帰問題には触れないまま、南北相互訪問の際の参観地制限撤廃や2007年以降の米韓合同軍事演習の全面中止、韓国の「国家保安法」廃止、コメ50万トンの支援要求などを求めた。

会談は平行線をたどり、予定より1日早い13日に共同声明文を採択することなく終了した。

### 平安南道、江原道、咸鏡南道を中心に豪雨・洪水の被害

7月14日～16日の間に降った豪雨により、平安南道、江

原道、咸鏡南道の一部地域で大きな被害が出た。『朝鮮中央通信』の報道によれば、14日午前6時から15日まで平安南道の陽徳、孟山、北倉、徳川地方でそれぞれ418ミリ、242ミリ、207ミリ、191ミリ、咸鏡南道の耀徳、金野、定平地方ではそれぞれ254ミリ、207ミリ、137ミリ、江原道の元山、通川、安辺、平康地方でも150～170ミリの大雨に見舞われた。また、平壤と平安南道の平城、順川、安州、平安北道の定州、博川、黄海北道の新坪、兔山、開城地方でも100～130ミリの雨が降った。今回の豪雨の特徴は、短時間に集中的な降雨があったことである。マスゲーム「アリラン」が行われる予定であった平壤市内の五・一競技場も浸水した。このような中、「アリラン」の開催は2007年4月に延期された。

アメリカ農務省（USDA）は、この豪雨によりコメの生産量は75,000トン（精穀基準）減少するとの推計<sup>1</sup>を出している。

### 南北合併のミネラルウォーター生産ラインが完成

『朝鮮新報』によれば、8月28日、平安南道南浦市の江西鉱泉水加工工場に新設された鉱泉水加工ラインの操業式が同日行われた。

新設のラインは、北が敷地と労力と技術（評価額100万ドル）を、南が設備と資材（評価額300万ドル）を提供する方式で建設された。新設ラインは完全自動化されたシステムで、月に500ミリリットル入りのミネラルウォーターを100万本生産が可能とのことである。

江西鉱泉水加工工場は、これまでも品質のよいミネラルウォーターを生産することで知られ、平壤市内のホテルなどで飲用水として供されている。

（ERINA調査研究部研究主任 三村光弘）

<sup>1</sup> <http://as.usda.gov/wap/circular/2006/06-08/Wap%2008-06.pdf>